

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	24010	事業名	がん検診推進事業	部名	健康福祉部
	実施基本体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	室名	長寿健康づくり室	
		基本施策	01:健康づくりの推進	財務科目	会計	01:一般会計
		施策の方向	01:保健サービスの充実		款	04:衛生費
		戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト		項	01:保健衛生費
	事業予定期間	H 24 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	健康増進法、がん検診推進事業実施要綱	目	01:保健衛生総務費

② 目的・概要	対象	40歳以上(胃がん・肺がん・大腸がん)、30歳以上の女性(乳がん)、20歳以上の女性(子宮がん)、50歳以上の男性(前立腺がん)
	目的	がん検診の受診促進を図るとともに、がん予防に関する知識の普及及びがんの早期発見・早期治療につなげ、市民の健康保持及び増進を図る。
概要	胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診・前立腺がん検診を個別検診及び集団検診にて実施する。一部がん検診については、一定年齢の対象者に無料クーポン券等を配布し、受診に必要な検診費用の補助を行う。また、国民健康保険加入者等の対象者に個別通知を行い、受診率の向上を図る。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	○検診	胃がん(40歳以上) 肺がん(40歳以上) 大腸がん(40歳以上) 乳がん(30歳以上の女性) 子宮頸がん(20歳以上の女性) 前立腺がん(50歳以上の男性) (国・無料クーポン)	胃がん(40歳以上) 肺がん(40歳以上) 大腸がん(40歳以上) 乳がん(30歳以上の女性) 子宮頸がん(20歳以上の女性) 前立腺がん(50歳以上の男性) (国・無料クーポン)	
		大腸がん(40・45・50・55・60歳) 乳がん(40・42・47・52・57歳の女性) 子宮頸がん(20・22・27・32・37歳の女性) ※乳がん及び子宮頸がんはH25クーポン未利用者含む	乳がん(40歳の女性) 子宮頸がん(20歳の女性)	
	○市民への周知啓発	○市民への周知啓発		
	・広報、ホームページ、ケーブルテレビ、健康づくりのてびき、各種教室での啓発の実施	・広報、ホームページ、ケーブルテレビ、健康づくりのてびき、各種教室での啓発の実施		
	・食生活改善推進協議会などの団体への啓発活動の実施	・食生活改善推進協議会などの団体への啓発活動の実施		
	計画額	事業費	88,400千円	93,400千円
		国庫支出金	3,100千円	120千円
		県支出金		
		地方債		
		その他		
予算額	一般財源	85,300千円	93,280千円	
	事業費	94,246千円	94,482千円	
	国庫支出金	838千円	126千円	
	県支出金	0千円	0千円	
	地方債	0千円	0千円	
その他	0千円	0千円		
一般財源	93,408千円	94,356千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		181,800千円	期間外事業費(H29以降)② -	
			総事業費 (①+②) -	

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	広報等PR活動回数		
	補足	広報・ホームページ・CATV等のPR	活動 計画値 6	6
②	名称	各組織・団体等への啓発活動		
	補足	食生活改善推進協議会などの団体への啓発活動	活動 計画値 2	3
③	名称	がん検診受診率		
	補足	胃がん・肺がん・大腸がんの検診受診率	成果 計画値 19.6/30.9/29.5	20.7/31.1/34.2
④	名称			
	補足		単位 %	%

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	24010	がん検診推進事業	室名	長寿健康づくり室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:健康づくりの推進	務	款 04:衛生費
② 実施体系	施策の方向	01:保健サービスの充実	科	項 01:保健衛生費
	戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目	目 01:保健衛生総務費

② 目的・概要	対象	40歳以上(胃がん・肺がん・大腸がん)、30歳以上の女性(乳がん)、20歳以上の女性(子宮がん)、50歳以上の男性(前立腺がん)		
	目的	がん検診の受診促進を図るとともに、がん予防に関する知識の普及及びがんの早期発見・早期治療につなげ、市民の健康保持及び増進を図る。		
概要	胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診・前立腺がん検診を個別検診及び集団検診にて実施する。一部がん検診については、一定年齢の対象者に無料クーポン券等を配布し、受診に必要な検診費用の補助を行う。また、国民健康保険加入者等の対象者に個別通知を行い、受診率の向上を図る。			

		27年度		28年度	
①	名称	広報等PR活動回数	計画値	6	6
	補足	広報・ホームページ・CATV等のPR	実績値	8	6
			単位	回	回
②	名称	各組織・団体等への啓発活動	計画値	2	3
	補足	食生活改善推進協議会などの団体への啓発活動	実績値	5	1
			単位	回	回
③	名称	がん検診受診率	計画値	19.6/30.9/29.5	20.7/31.1/34.2
	補足	胃がん・肺がん・大腸がんの検診受診率	実績値	21.8/33.2/32.9	22.0/30.5/32.8
			単位	%	%
④	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績	○検診 胃がん(40歳以上) 肺がん(40歳以上) 大腸がん(40歳以上) 乳がん(30歳以上の女性) 子宮頸がん(20歳以上の女性) 前立腺がん(50歳以上の男性) (国・無料クーポン) 乳がん(40歳の女性) 子宮頸がん(20歳の女性)			・基準日(4月20日)に対象者抽出、がん検診台帳の作成 ・検診手帳、クーポン券等の発送(5月末) ・広報掲載(特集2回お知らせ1回)、ケーブルTV放映(1回、文字情報3回) ・各種教室の開催時の勧奨(随時) ・イベント時のがん検診啓発(大腸がんクイズ等) ・健康づくりのてびき全戸配布(6月)及び転入者への配布 ・クーポン券未利用者への勧奨ハガキ発送(乳・子宮がん検診)			
	○市民への周知啓発 ・広報、ホームページ、ケーブルテレビ、健康づくりのてびき、各種教室での啓発の実施 ・食生活改善推進協議会などの団体への啓発活動の実施			・がん検診受診率 胃がん検診 22.0% 肺がん検診 32.8% 大腸がん検診 30.5% 子宮がん検診 12.7% 乳がん検診 23.8% 前立腺がん検診 34.0%			
事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	10,192	平均給与額×③
	国庫支出金	3,100	126	161	一般職員人件費 ②	9,373	
	県支出金		0	0	所要人員 ③	1.28	
	地方債		0	0	臨時職員人件費 ④	819	
	その他		0	0	⑤	0	⑤ / ⑥
	一般財源	90,300	94,356	90,645	受益者負担率	0.0%	
	再掲	翌年度への繰越額		0			
		前年度からの繰越額		0	0		
		総人件費		①	10,192		
		総コスト		⑥	100,998		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	集団検診の申込方法を専用はがきによる申込へと変更したため、今まで申込開始日に申込みのできなかった人も申込可能となり、平等に申し込むことが可能となった。また、継続的な検診受診を見込むため、新たなターゲット「過去2年間に市のがん検診受診歴がある人」にもがん検診受診券の個人通知を行い、検診の種類によっては、微増ではあるが、受診率の向上が見られた。	総合判定	B
	【反省点・課題】	集団検診では、定員を超えた日程については、抽選を行い、検診受診日を決定したが、「希望に沿わない日程」「日程が先で予定が入った」等の理由で日程変更やキャンセルが多く、定員を切ってしまう日程も発生した。また、第3希望まで聞いたことにより、抽選が複雑となり、市民にもわかりづらい点があった。		
	【改善の方向性】	「健康づくりのてびき」や専用はがきの内容の見直しを行い、市民にわかりやすく周知することとする。また、検診日を決定する時点で、キャンセルを見込んだ人数を見直すことで、受診者数が定員を割ることがないよう工夫していく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 小森 達也	